



2025年10月17日（金）
橋梁技術発表会（大阪地区）

犀川大橋のこれまでの歩みとこれから



計画課長 石山 良太

— 目次 —

- 犀川大橋について
- 道路協力団体制度を活用した賑わい創出
- 今後の活動 ～ライトアップ～

— 目次 —

- 犀川大橋について
- 道路協力団体制度を活用した賑わい創出
- 今後の活動 ～ライトアップ～



鉄橋としては国内有数の歴史を持つ犀川大橋は、1924年に架橋され、2024年に100年を迎えます。藩政期の架橋から現在まで、その姿は何度も変わっていますが、人と人をつなぎ、新たな産業や生活文化の創出に貢献してきた大橋の役割は、今も昔も変わることはありません。その価値が認められて2000年には国の登録有形文化財にも登録されています。

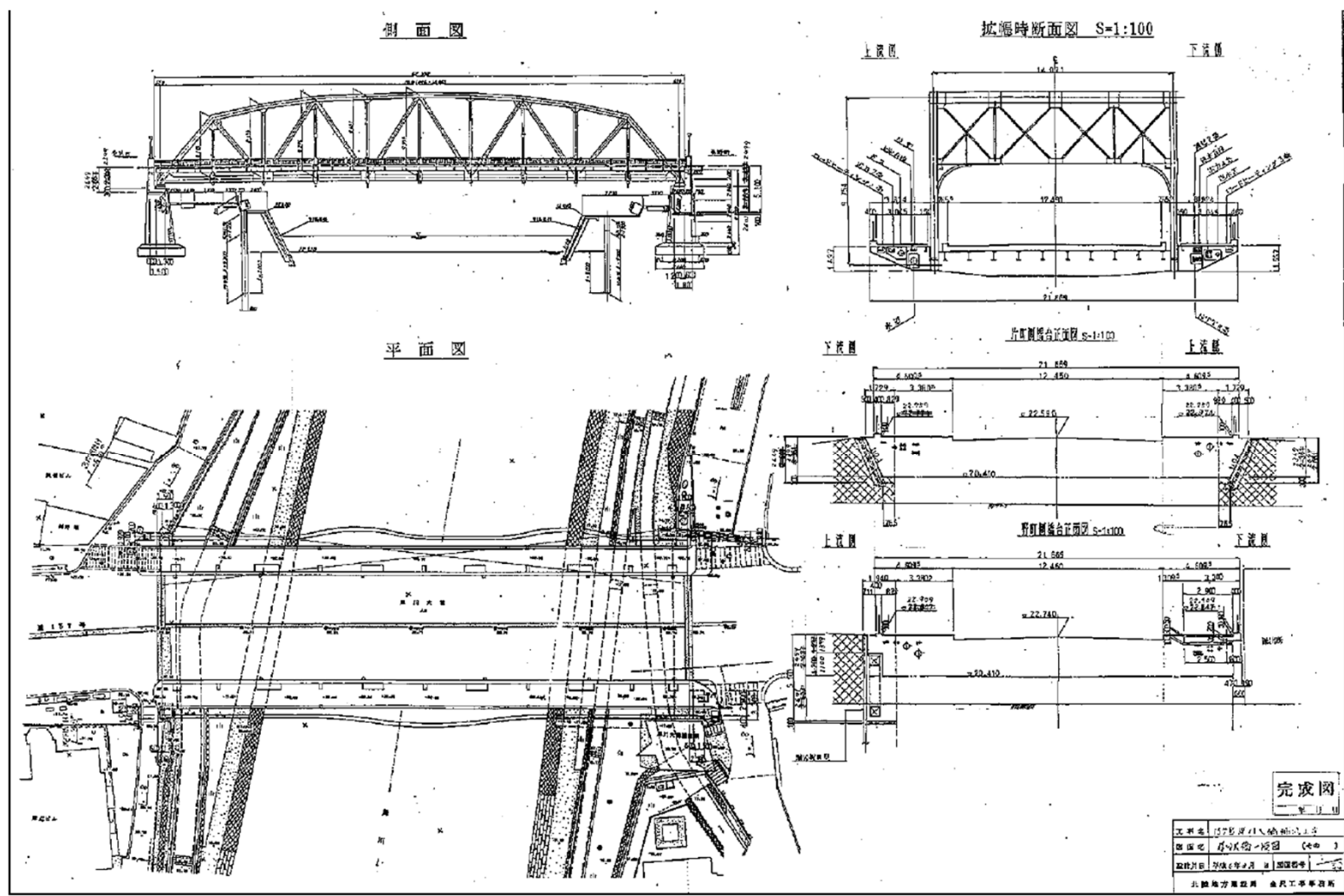
犀川大橋の構造

橋梁諸元

橋 名：犀川大橋
 竣 工 年：大正13年3月(1924年)※築101年
 橋 長：62.308m
 幅 員：21.669~23.669m
 形 式：下路式単純曲弦ワーレントラス



位置図



犀川大橋の特徴

01 ワーレントラス形式

日本橋梁技術の先駆者、関場茂樹が設計を手掛け、大正13年（1924）に完成。鋼材の組み合わせが男性的な力強さを感じさせます。



犀川大橋の特徴

0 2 街並みになじんだ色

平成6年（1994）の改修工事で、日本の伝統色である青色を加賀友禅に見られるグラデーションの配色法で施しました。



犀川大橋の特徴

0 3 歩道空間

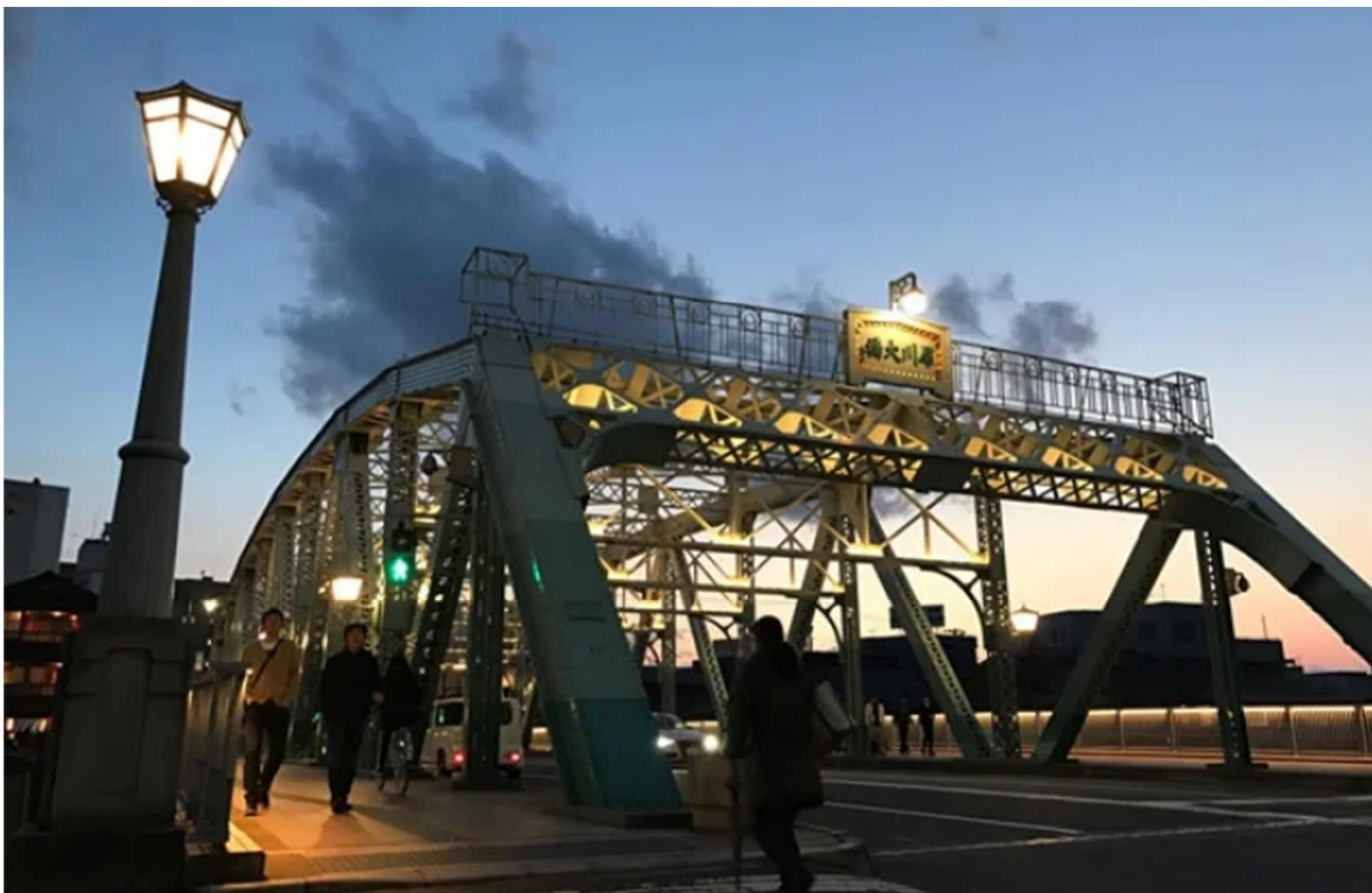
歩道は御影石で舗装し、柔らかな曲線を取り入れて、金沢の景観になじむよう配慮。バルコニー的空間は、橋上を散策する人々の憩いの場に。



犀川大橋の特徴

04 レトロ調の照明

犀川の両岸にある「犀星の道」との調和を意識して、ガス灯をイメージ。夕暮れには柔らかな明かりがともり、ロマンチックな雰囲気演出します。



犀川大橋の特徴

0 5 紅柄格子の高欄

金沢情緒の一つである紅柄格子のイメージを取り入れて、城下町のしっとりとした古きよき街並みとの調和を図っています。



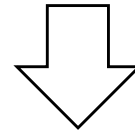
犀川大橋の特徴

0 6 賑わいの場としての活用

良好な景観や繁華街への近さなどの利点を活かし、道路協力団体制度を活用した橋上でのイベント等を開催。



Warren Truss



James Warrenらにより考案された構造形式

【構造的な特徴】

- 斜材の向きを交互にしたトラス橋で、トラスが逆「W」形なのが特徴。
- 垂直材がないため鋼材が節約でき、安価で軽量となる。



図. 日本橋梁建設協会HPから引用

<https://www.jasbc.or.jp/routepress21st/rp21st-08-01.php>



垂直材が配置されているため、ワーレントラスではないのでは？



1. 構造の安定性向上
2. 施工性の向上
3. 荷重分散の工夫

等を目的として、補助的に垂直材を配置しているが、間違いなく「ワーレントラス」

■大阪府内のワーレントラス橋



淀川橋梁（JR大阪環状線・おおさか東線）

■大阪府内のワーレントラス橋

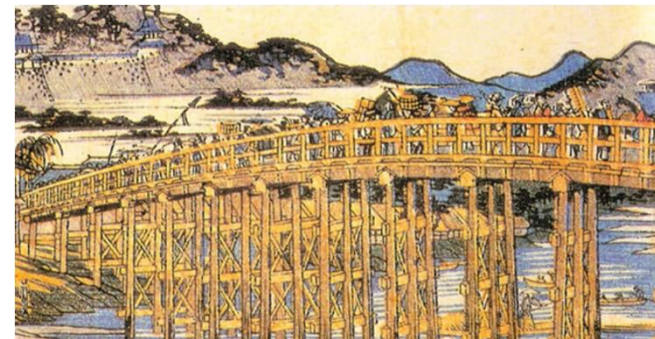


淀川大橋（国道2号）

犀川大橋のこれまでの歩み

藩政期～大正 1594～1918年 木造橋の頃

最初の架橋は加賀藩祖、前田利家が造った木造大橋です。城下一の大きさを誇り、犀川に架かる唯一の大橋であったことから、今と変わらず当時も人の交流や物流が盛んでした。明治維新以後も洪水やはんらんにより度々流失し、明治31年（1898）に木造橋最後の架け替えが行われました。



大正 1919～1922年 鉄筋コンクリート橋の頃

市電敷設のためそれまでの木造橋を取り壊し、鉄筋コンクリート製の永久橋に変わりました。フランス・アンネビック式で鉄筋は一部米国製を使ったりと、堅牢さが自慢の橋でしたが、大正11年8月、金沢測候所（現気象台）開設以来の集中豪雨により崩壊し、3年間の短命に終わりました。



大正～平成 1924～1993年 鋼材橋の頃（近年）

現在見られるワーレントラス式の鉄橋は、鋼材を組み合わせた造形が「男川」と呼ばれる犀川にふさわしく、男性的な力強さを感じさせます。設計は日本橋梁技術の先駆者である関場茂樹が手掛け、英国製の鋼材も使用されました。



現代 1994～

平成6年（1994）の改修工事で、青系統のグラデーションが施されました。歩道にはベンチやバルコニー的空間、レトロ調の照明が設けられ、高欄は金沢情緒を演出する紅柄格子がイメージされています。伝統を重んじながらも現代感覚を取り入れた橋は、金沢の街並みにしっくりとなじみ、2000年には国の登録有形文化財の登録を受けました。近年では、協力団体制度を活用して橋上でのオープンカフェが実施されるなど、憩いの場にもなっています。



犀川大橋の色彩の変遷

- 1924(大正13)年:竣工(「ネズミ色」との文献記載あり)※写真【①】**
- 1957(昭和32)年:横桁11本補修、床版補修
- 1958(昭和33)年:石川県から建設省に管理を移管
- 1966(昭和41)年:塗装(薄いカーキ色)**
- 1967(昭和42)年:軌道撤去、オーバーレイ、モルタルによる床版補修
- 1969(昭和44)年:載荷試験
- 1975(昭和50)年:塗装(白系クリーム色) ※写真【②】**
- 1976(昭和51)年:河川改修に伴う橋台補修
- 1968(昭和53)年:縦桁・排水桝取替、床版部分打換、鋼板接着、
下横構ガセット部分取替
- 1984(昭和59)年:塗装(黄緑色) ※写真【③】**
- 載荷試験、鉛直材テンションバー設置、伸縮継手取替
- 1993(平成05)年:塗装(青灰色系グラデーション) ※写真【④】**
- 歩道部拡幅、垂直材・各点部補強、伸縮継手取替
- 1994(平成06)年:舗装打替、パラペット拡幅、照明灯取替
- 2000(平成12)年:国の登録有形文化材に指定**
- 2009(平成21)年:塗装(現在の塗装) ※写真【⑤】**



1924 (大正13) ; 完成
文献では「ネズミ色」と記載
(写真①)



1966 (昭和41年)
薄いカーキ色 (写真なし)
1975 (昭和50年)
白系クリーム色 (写真②)



1984 (昭和59年)
黄緑色 (写真③)



1993 (平成6年)
青灰色系グラデーション
(写真④)



2009 (平成21年)
現在の塗装 (写真⑤)

犀川大橋景観検討委員会の開催について

- 平成21年の犀川大橋の塗替の計画にあたり、犀川大橋景観検討委員会を開催(全3回開催)し、学識経験者をはじめとする有識者の助言をいただきながら塗装塗替の色彩を決定
- 一般市民からの意見を聴くため、アンケートを実施し委員会の参考としました。(金沢河川国道事務所のホームページ 及び 浅野川園遊会来場者に協力を呼びかけ)

■ 犀川大橋景観検討委員会 委員構成 (敬称略)

委員長：水野 一郎 (金沢工業大学 教授)
 委員：山岸 政雄 (金沢学院短期大学 教授)
 半田 隆彦 (金沢経済同友会 理事)
 森田 郁代 (市校下婦人会連絡協議会 副会長)
 竹村 裕樹 (石川県 土木部 景観形成推進室次長)
 坂戸 正治 (金沢市 都市整備局長)
 蓮見 有敏 (国土交通省北陸地方整備局金沢河川国道事務所長)

■ 犀川大橋景観検討委員会 開催状況と議事内容

開催日	議事内容
第1回 平成19年12月5日	1. 現地確認 2. 規約の確認 3. 委員長選出 4. 委員会発足理由 5. 前回(平成5年)の決定経緯確認 6. 今後の進め方の確認 7. その他
第2回 平成20年2月21日	1. 景観コンセプトの確認 2. 色相・明度・彩度の絞り込み 3. アクセントの付け方 4. 本橋色彩候補色の検討 ※ 第2回委員会の終了後、候補色についてアンケートを実施
第3回 平成20年6月25日	1. 最終候補色の決定 2. 付属物の色彩検討 3. アクセントとしての金沢箔の活用 4. 本橋の解説板についての意見聴取

■ アンケート集計結果

【回答者数】

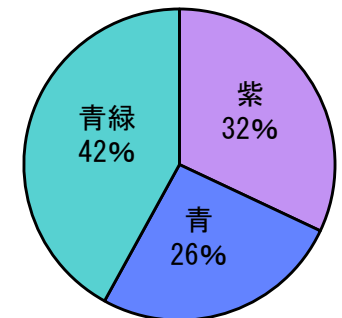
- ・浅野川園遊会アンケート : 646名
- ・金沢河川国道事務所ホームページ : 50名

- Q. 犀川大橋の新しい色彩としてふさわしいと思う色を1つ選んでください。
- 第1位: 青緑系 42%(浅野川園遊会: 42%/事務所ホームページ: 56%)
 第2位: 紫 系 32%(浅野川園遊会: 32%/事務所ホームページ: 24%)
 第3位: 青 系 26%(浅野川園遊会: 26%/事務所ホームページ: 20%)

【Q.アンケート集計結果※】



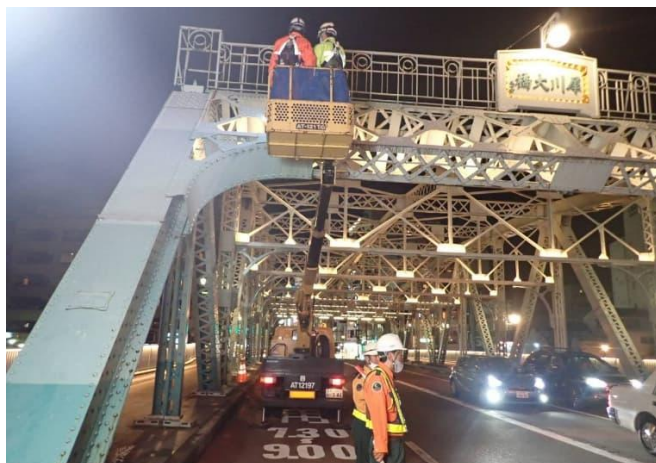
浅野川園遊会でのアンケートの様子



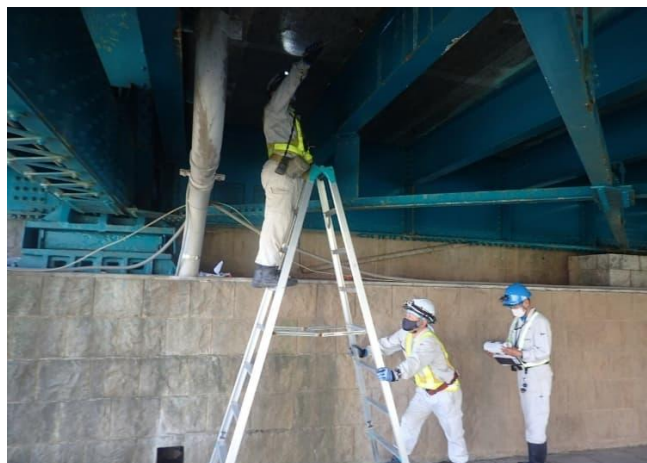
(※浅野川園遊会でのアンケートと事務所HPアンケートの結果を合計したもの)

犀川大橋のメンテナンス

- ・ 今後も犀川大橋を利用していくため、適時適切な補修・補強を行っていきます
- ・ 直近では2021年度に定期点検を実施しており、**健全性「区分Ⅱ（予防保全段階）」**と診断しております。



高所作業車による近接目視点検



地上からの近接目視点検



ロープアクセスによる近接目視点検

（参考）トンネル等の健全性の診断結果の分類に関する告示

区分		状態
I	健全	構造物の機能に支障が生じていない状態
II	予防保全段階	構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態
III	早期措置段階	構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態
IV	緊急措置段階	構造物の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態

— 目次 —

- 犀川大橋について
- 道路協力団体制度を活用した賑わい創出
- 今後の活動 ～ライトアップ～

道路協力団体制度について①

1. 道路協力団体制度とは？

- 道路における身近な課題の解消や、道路利用者のニーズへのきめ細やかな対応などの業務に自発的に取り組む民間団体等を支援するものです。
- 道路管理者と連携して業務を行う団体として法律上位置づけることにより、自発的な業務への取組を促進し、地域の実情に応じた道路管理の充実を図ろうとするものです。

2. 制度の特徴

- 業務を行うにあたり3. ②に挙げる物件等の道路占用が必要な場合、手続きが円滑・柔軟化※されます。
- 道路空間を活用した収益活動が可能です。その収益は道路の管理に還元頂きます。



※手続きが簡素化され、占用可否の判断にあたり無余地性の基準（道路の敷地外に余地がないためにやむを得ない場合に限り道路占用を許可する基準）が適用されなくなるため、オープンカフェや物販施設等の占用を通じた道路における収益活動が行いやすくなります。

道路協力団体制度について②

3. 道路協力団体の業務内容（道路法第48条の61）

- ① 道路管理者に協力して、道路に関する工事又は道路の維持を行うこと。
（例：道路の清掃、花壇整備、歩道の段差解消のためにステップの設置等の軽易な工事）
- ② ①のほか、安全かつ円滑な道路の交通の確保又は道路の通行者若しくは利用者の利便の増進に資する工作物、物件又は施設であって、下記※に掲げるものの設置又は管理を行うこと。 ※道路法施行規則第4条の27

- 1) 看板、標識、旗ざお、幕、アーチその他これらに類する物件または歩廊、雪よけ等で安全かつ円滑な道路の交通の確保に資するもの
（例：歩行者等の通行注意看板、案内板、街灯、歩廊）
- 2) トンネル上、高架下等の自動車駐車場及び自転車駐車場
（例：小型モビリティ用駐車場、シェアサイクル駐輪場）
- 3) 道路の路面に設ける自転車、原付、小型自動車等の駐車に要する器具
（例：シェアサイクル施設）
- 4) 広告塔又は看板で良好な景観の形成又は風致の維持に寄与するもの
（例：掲示板）
- 5) 標識又はベンチもしくはその上屋、街灯等
（例：歩行者休息スペースやバス停等のベンチ及び上屋、案内板、街灯）
- 6) 食事施設、購買施設等
（例：オープンカフェ、マルシェ）
- 7) 道路に関するイベントに係る広告塔、ベンチ、露店、看板、標識、アーチ等
（例：道路に関連したイベント開催に要する機材）

道路協力団体制度について③

3. 道路協力団体の業務内容（道路法第48条の61）

- ③ 道路の管理に関する情報又は資料を収集し、及び提供すること。
（例：道路の不具合箇所、不法占用物件等の発見及び道路管理者への通報）
- ④ 道路の管理に関する調査研究を行うこと。
（例：交通量調査、道の駅の利用者ニーズ調査）
- ⑤ 道路の管理に関する知識の普及及び啓発を行うこと。
（例：通勤・通学の安全確保に関する意見交換、占用許可制度に関する啓発活動、無電柱化等の施策に関するワークショップの開催）
- ⑥ ①～⑤に掲げる業務に附帯する業務を行うこと。

【道路空間の活用イメージ】



※スムーズな活動環境整備のため、道路工事・占用に係る行政手続を円滑・柔軟化

公的活動イメージ

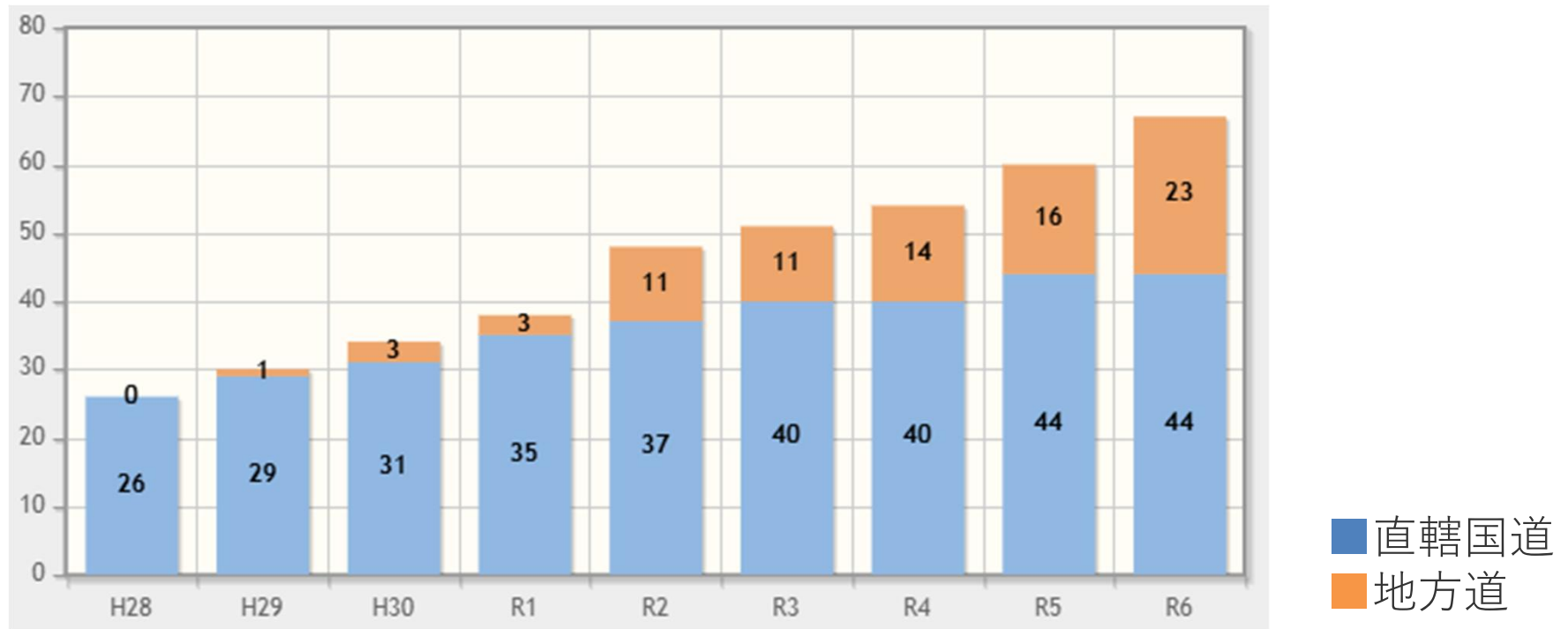


収益活動イメージ



【参考】道路協力団体一覧

直轄国道・地方道における道路協力団体数 令和6年6月時点



(参考) 北陸地方における道路協力団体一覧 (直轄国道)

都道府県	市町村	団体名	指定年度	路線	延長
新潟県	上越市、糸魚川市	特定非営利活動法人 徳合ふるさとの会	H28	8	0.7km
富山県	砺波市	となみチューリップ街道実行委員会	H28	156	1.35km
石川県	金沢市	金沢片町まちづくり会議	R1	157	0.82km
石川県	金沢市	金沢中心商店街武蔵活性化協議会	H28	157	0.28km

(参考) 近畿地方における道路協力団体一覧 (直轄国道)

都道府県	市町村	団体名	指定年度	路線	延長
奈良県	奈良市	特定非営利活動法人 奈良好き人のつどい	H28	24	0.9km

道路協力団体活動概要(金沢片町まちづくり会議)

法人等の名称: 金沢片町まちづくり会議(平成28年12月28日指定／令和元年12月27日更新)

指定区間: 国道157号 0.87kp(石川県金沢市香林坊)～1.69kp(野町)・延長: 約0.82km

業務内容: (1号業務) 歩道清掃、花壇の植え替え
(2号業務) 犀川大橋のライトアップ、オープンカフェ、プランターの設置



出典: 国土地理院地図

1号業務 歩道での清掃・花壇の植え替え



2号業務

犀川大橋のライトアップ、オープンカフェ、プランターの設置



【団体の概要】

金沢片町まちづくり会議は、石川県内で初となる道路協力団体として平成28年12月28日付けで指定された。金沢片町地区及びその周辺に住む人働く人活動する人が中心となり、多様な交流を通して心残るまちの再生を目指して設立された団体で、構成人数は約40名。

百寿会(浅野川大橋、犀川大橋架橋100年)

■浅野川大橋【竣工1992年(大正11年)】は、2022年(令和4年)に、犀川大橋【竣工1924年(大正13年)】は、2024年(令和6年)に100年を迎えました。

■100年を機に、中心市街地の活性化や市民、県民のシビックプライドを醸成し永く後世に伝えるために、百寿会を設立し、情報発信とイベントを実施しました。

【百寿会の設置】

地域が一体となって「百寿祭」を創り上げ、盛り上げていくため、浅野川大橋・犀川大橋百寿祭の連携会議を設置し、情報共有・調整を進めています。



分類	会員
地元団体	各まちづくり協議会
	各観光協会
	各町会連合会
行政	石川県
	金沢市
アドバイザー	金沢大学准教授 丸谷 耕太
	金沢工業大学講師 片桐 由希子
事務局	金沢河川国道事務所 計画課



【これまでの取り組み】

●R4年度:

浅野川大橋 Instagramフォトコンテスト、絵画コンテスト、百寿祭

■浅野川大橋百寿祭の概要

日時: 令和4年10月15日(土) 10時00分～11時15分

内容: 渡橋式、100周年記念プレート除幕式、加賀とび 梯子登り など



●R5年度:

浅野川大橋、犀川大橋の橋みがき

犀川大橋Instagramフォトコンテスト(実施中)

●R6年度:

百寿橋巡りツアー

犀川大橋絵画コンテスト(実施中)

犀川大橋百寿祭



【写真】百寿橋巡りツアーの様子

官民が連携した地域の賑わい創世 ～VSP、道路協力団体制度の活用～

- 犀川大橋が2024年（令和6年）に100歳を迎えるにあたり、**道路協力団体「金沢片町まちづくり会議」**と連携し、2024年（令和6年）6月30日に犀川大橋の橋磨きや花植えを実施
- 金沢片町まちづくり会議をはじめ、金沢中央ライオンズクラブ、野町弥生地区商店街連盟、長町地区町会連合会、一般社団法人 日本橋梁建設協会、国土交通省金沢河川国道事務所など約100名が参加しました。

▼橋磨きの様子@犀川大橋



▼花植えの様子@犀川大橋



犀川大橋百寿祭の開催

ももじゅ

■犀川大橋が今年7月で100歳を迎えるに当たり、7月7日(日)に「片町交差点～野町広小路交差点」を歩行者天国にして、犀川大橋百寿祭を開催しました。

■当日は天候にも恵まれ、約15,000人の方が来場し、ステージプログラムや近隣小学校が作成した約600個の行灯展示などにより、これまで地域の生活を支えてきた犀川大橋を称え100歳をお祝いしました。

- 日 時：令和6年7月7日(日)18時30分～20時10分
- 会 場：国道157号 片町交差点～野町広小路交差点(全面通行止による歩行者天国化)
- 来場者数：約15,000人
- 内 容：

〈ステージプログラム〉

- 一. オープニングアクト 御陣乗太鼓
- 一. 開 会 挨 拶 金沢河川国道事務所長 五十川 泰史
- 一. 来 賓 挨 拶 衆議院議員 小森 卓郎 様
- 一. 水 辺 で 乾 杯 挨 拶 石川県知事 馳 浩 様
(代理 石川県 商工労働部 産業振興戦略監 西村 聡 様)
金沢市長 村山 卓 様
乾杯 片町まちづくり会議会長 諸江 洋 様

- 一. 3世代家族による渡橋式
- 一. 「100周年記念プレート」除幕式
- 一. 未来へのプレート贈呈および行灯企画の紹介
- 一. ライトアップリニューアルの紹介
- 一. 西芸妓の舞

〈出店等〉地元小学制作のオリジナル行灯展示、キッチンカーの出店、パネル展示 等



輪島 御陣乗太鼓



開会の挨拶
金沢河川国道事務所長
五十川 泰史



来賓挨拶
衆議院議員 小森 卓郎



水辺で乾杯 来賓挨拶
金沢市長 村山 卓

犀川大橋百寿祭の開催



水辺で乾杯 音頭
金沢片町まちづくり会議会長
諸江 洋



水辺で乾杯



3世代家族による渡橋式



100周年記念プレート除幕式



未来へのプレート贈呈



未来へのプレート贈呈
日本橋梁建設協会副会長
川田 忠裕



ライトアップリニューアルの紹介
(株)LEM(レム)空間工房 代表
長町 志穂



西芸妓の舞



パネル展示



地元小学生制作のオリジナル行灯展示



会場の様子



会場の様子

最近の活動 ～橋磨き～

🔄 あなたがリポストしました



片町商店街振興組合

@e_katamachi



犀川大橋の清掃活動を実施しました！8団体・約80名が参加し、橋の欄干を中心に蜘蛛の巣や汚れ取りなどを行いました。2014年7月で架橋100年を迎えた犀川大橋。

これからも地域みなさんに愛される橋として大切にしていきます！ e-katamachi.com/event/gallery/... #金沢片町 #犀川大橋



午前11:09・2025年7月6日・2,037 件の表示



国土交通省 金沢河川国道事務所 道路情報室
@KanazawaBousai



水辺で乾杯2025

令和7年7月7日 PM7時7分 犀川大橋で水辺で乾杯が開催されました！
水辺で乾杯に併せて、犀川大橋を青色にライトアップされています！

#犀川大橋 #水辺で乾杯 #ミズベリング



午後10:40・2025年7月7日・4,587 件の表示

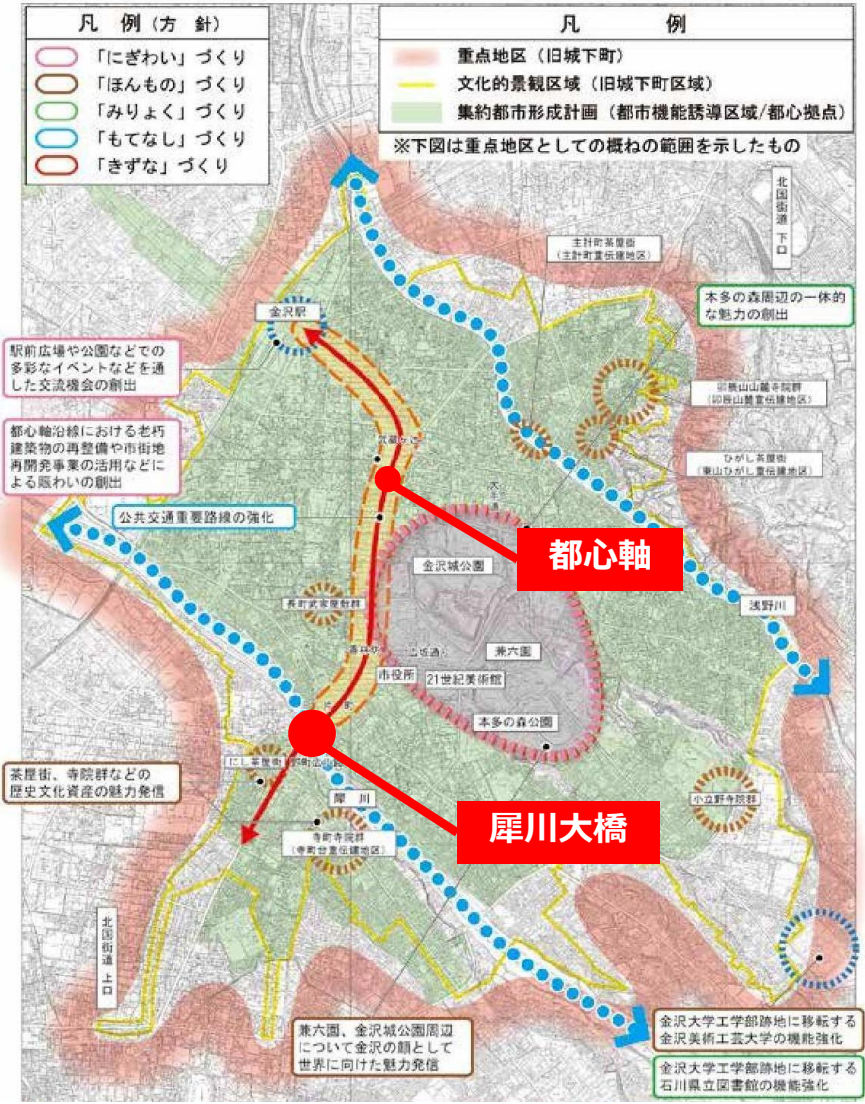
— 目次 —

- 犀川大橋について
- 道路協力団体制度を活用した賑わい創出
- 今後の活動 ～ライトアップ～

犀川大橋の景観上の位置づけ

- ・都心軸の一部を形成しており、「近代的な魅力ある都市の顔として景観を形成」することが求められている。
- ・川筋景観区域に位置しており、「賑わいのある近代的な町並みと犀川の悠々とした流れが調和した川筋景観を保全・形成」することが求められている。

◆重点地区のまちづくり方針図(旧城下町)



※金沢市都市計画マスタープランP.90より

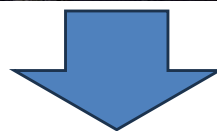
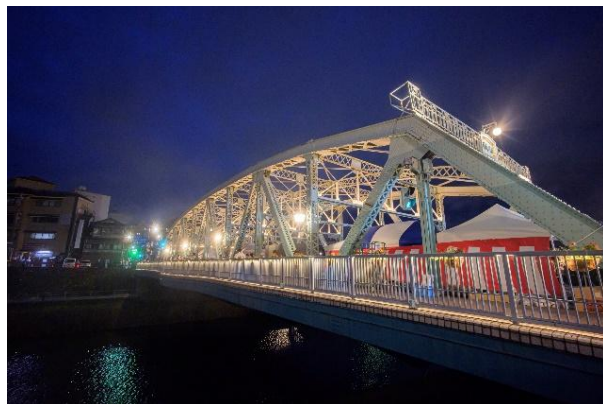


※金沢市景観計画P.183より

にぎわい創出に向けたライトアップの試行について(1)

【これまでの経緯】

- ・犀川大橋は架橋100年を節目に、更新時期でもあった令和6年7月に照明のリニューアルを実施。
- ・100周年を祝う百寿祭で点灯され、現在は、電球色で点灯しており、橋上の落ち着いた空間を演出。
- ・この百寿祭では、3時間で約15,000人が来場するなど犀川大橋を中心とした地域の魅力を再確認。



- ・こうした状況の中、地元道路協力団体より「まちなかの賑わい創出」に繋がる犀川大橋のライトアップ（カラー）について、金沢河川国道事務所に要望あり。



- ・金沢河川国道事務所として、都心軸としての景観、川筋として景観を保全しながら、賑わい創出に繋がるライトアップ（カラー）の試行を委員※の皆様のご助言を受けながら実施していきたい。

※金沢市都市計画審議会用水みちすじ部会

にぎわい創出に向けたライトアップの試行について(2)

【カラーバリエーション】

- ・リニューアルされた照明では、電球色のほか加賀五彩をベースに7色の設定が可能。
- ・これらのカラーについて、時季やイベントなどに応じて、警察や委員、地元からの意見を踏まえライトアップ計画（案）を策定する。

通常：電球色



電球色

通常は「電球色」で点灯しています。
落ち着いた上質な橋上空間を目指します。

■ 現在の点灯時間 (タイマー制御)

4月～10月 17:00～24:00

11月～3月 16:00～24:00

■ 色彩一覧

色	
1 電球色	
2 桜色	
3 藍色	
4 えんじ色	
5 薄青色	
6 古代紫色	
7 草色	
8 黄土色	
9 デモモード (1~8と白色が順番に点灯) 電球色→白色→桜色→藍色→えんじ色→ 薄青色→古代紫色→草色→黄土色	
10 消灯	

カラーバリエーション



電球色



桜色



藍色



えんじ色



薄青色



古代紫色



草色



黄土色

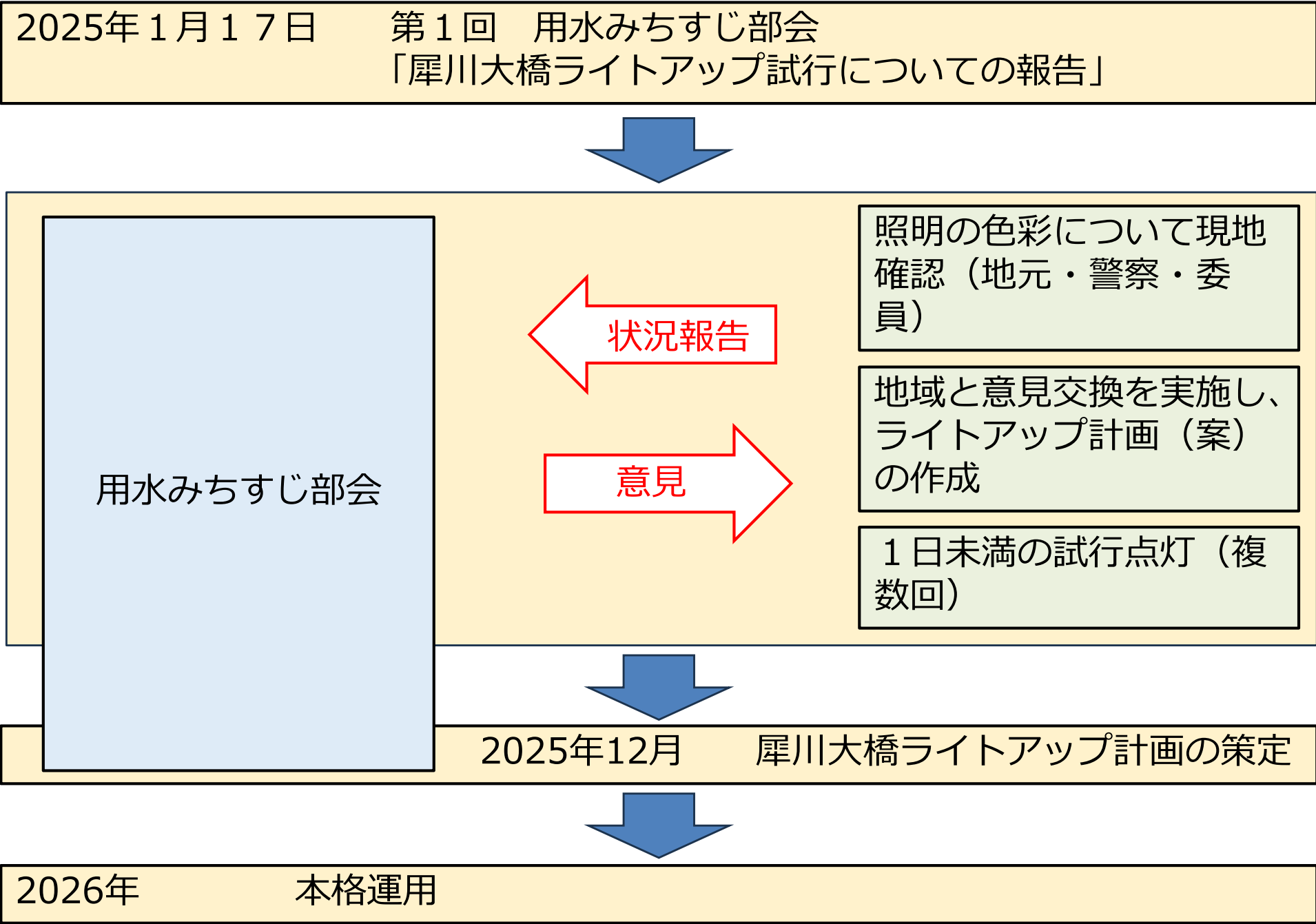
■ 色彩について

「電球色」、犀川の桜並木をイメージした「桜色」の他に、加賀友禅で用いられている、落ち着いた色味が特徴の「加賀五彩」を取り入れた色彩構成です。

『加賀五彩』

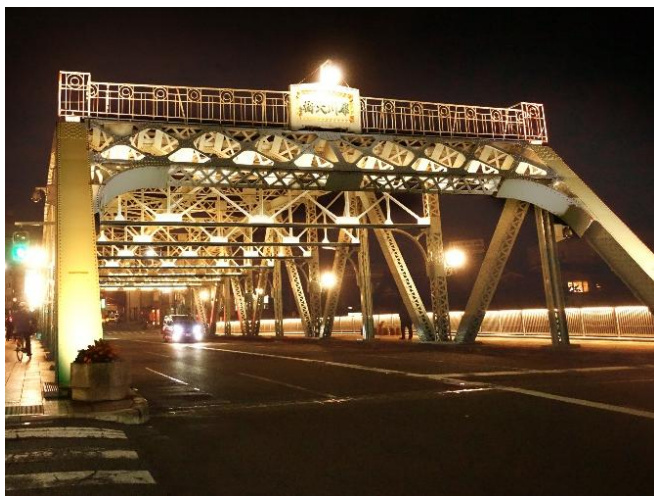


今後の予定



【試行】国道157号 犀川大橋 を桜色にライトアップ

○中心市街地における犀川周辺の賑わい創出と回遊性の向上を図るため犀川利活用推進協議会が社会実験の一環として実施した『犀星のみち桜並木ライトアップ』（期間：4月4日（金）～4月20日（日））に併せて、桜の見頃となる4月7日（月）～4月13日（日）の午後5時～午前0時の間、犀川大橋のライトアップ色を桜色に変更しました。



通常のライトアップの様子（電球色）



桜色ライトアップの様子



桜色にライトアップされた犀川大橋と犀星のみち桜並木ライトアップの様子



ご清聴ありがとうございました

犀川大橋100周年絵画コンテスト受賞作品 ジュニアの部 (R6年実施) 最優秀賞
「夕方の犀川大橋」
倉 にちほ(金沢市立兼六中学校)